

5月27日は「百人一首」の日

嘉禎元年（1235年）5月27日に「小倉百人一首」が完成したとされていることから、この日は「百人一首の日」とされています。

藤原定家（ふじわらのていか）が、鎌倉幕府の御家人である宇都宮頼綱（うつのみやよりつな）から「別荘の襖のデザインとして飾る和歌を選んでほしい」と依頼を受け、百人の歌人の代表的な歌を一首ずつ集めたものです。京都の小倉山の山荘で選んだことにちなんで「小倉百人一首」と呼ばれるようになりました。並んでいる順番はほぼ時代ごとです。同時代のライバルや恋人、親子、親類など関連のある歌人たちが近い番号に集まっているので、歌とともに、人間模様の面からも楽しく鑑賞することができます。まさに当時の和歌の“ベストアルバム”です。定家はなぜこの歌を選んだのだろう？と定家の気持ちに思いを馳せてみるのも面白いですね。

小野田高等学校小倉百人一首かるた部顧問 青池のぞみ